



2年生 立志式



二月八日(金)に二年生の立志式を行いました。立志式とは、日本で古くから行われてきた元服にちなんで、大人としての自覚を持ち将来への志を立てる行事です。

今年度の立志式は、生活の原点を見つめる機会として宮田研蔵さんから立志に関わるお話を伺いました。

校訓 鍛英自律 錬知律

宇城市立三角中学校
学校新聞
平成31年2月28日
編集代表
校長 大槻 晋

話として、食を通して健康的な生活習慣」と題した講話をいただきました。頑張りやとすると、頑張りやから「だ」を作ること、腸内環境改善のために食物繊維が重要で、特に添加物のない味噌汁が大切であること、なぜ? どうして? の感覚を持ち、自ら食材を選び取り組んだり、自ら判断し行動したりするエネルギーが「脳の栄養」へとつながっていくことなど、これからの子どもたちにとってとても大切で貴重な内容でした。

講話の後には、将来の夢や生き方について代表二人の意見を強く感じました。二年生一人一人が、新たな誓いを立て大人の一歩を踏み出すこととの意義を意識した日になりました。

自己の行動規範の5項目

橋本左内 啓発録より

稚心を去る：子供じみた甘えを脱却せよ
氣を振う：恥辱を知って、人に負けまいと強く決意せよ
志を立つ：自分の目標を揺るぎなく定めひたすら精進せよ
学に勉む：優れた人物の立派な行いを見習い、実行せよ
交友を択ぶ：自分の向上につながる友を択べ

昨年の大河ドラマ「西郷どん」の中で風間俊介くんが演じ、西郷らとともに新しい国づくりを尽力した橋本左内。「元服」を期に自身の志を記したとされる「啓発録」。その中で左内は右にあるような五つの行動規範を示したとされる。自分自身でありようとして様々なことを記している。例えば「稚心を去る」の中では「父母の目をぬすんでは、すべきことを怠り、父母に寄りかかる心を起こしたり」とか、「父の厳しさから逃げ、母親の膝元に近づき隠れたいと願う」といったことが幼さである。とか、「志を立つ」上で、「自分で決めたことを貫くためには、そのことを書き写し常に目にとまるところに掲げておくべし」といった下りもある。「学に勉む」とは単に書物を読むなどして知識を深める

ことだけでなく「学問とは、優れた先人の立派な行いに習い、自分も努力することである。どんな立場になっても、私心を捨て、公のために貢献すべきである。」と説いている。最後の「交友を択ぶ」では「楽しいことばかりで馴れ合うのが友だちではない」「自分の過ちを遠慮なく指摘してくれる友は、とても大切だ」さらに「墮落につながる交際を求めぬ友人がいたら、正しい方向へ導くべきである」とも記している。

どれも現代でも立派に通じる考えで、はっとさせられる部分も多いのではないだろうか。



啓発録
福井藩主であり、開明派大名として知られる松平春嶽の懐刀として活躍した幕末の俊英、橋本左内が、数え年15の時に、偉人・豪傑の言行や精神を学び触発され、自らを常に奮い立たせるために自己の行動規範を5項目にわたって記した。単なる覚え書きのようなものではなく、この誓いこそが橋本左内の一生の出発点であり、後に傑出した先覚者の礎となった。

新入生体験入学・学校説明会



二月十五日(金)に新入生体験入学・学校説明会がありました。来年度入学予定の六年生とその保護者が出席し、主に生徒会による学校説明と校舎及び授業の様子の見学が行われました。六年生の皆さんは、ちょっとだけ中学生気分を味わえたようです。入学を楽しみに待っています。

- ▼各種コンクール・大会等
 - 【一年の部】《特選》川添心咲喜
 - 《天賞》山下美月
 - 《地賞》嶋田理咲、永嶺里奈
 - 《人賞》西山昇汰、木本瑠泉
 - 《特選》一村阿依、平原萌楓
 - 《地賞》安田楓、杉谷玲温
 - 《人賞》河嶋桜子、池田築、富田桜未
 - 《地賞》野口ひかり、松浦佑香
 - 柳原莉奈
- ▼県工作展
 - 【二年】《特選》富田桜未
 - 【三年】《特選》宮川凜久
- ▼宇城工作展
 - 【二年】《入選》井芹祐真、梅田耕汰、河瀬大陸、嶋田理咲
 - 【二年】《入選》石塚優斗、岩本賢弥、一村阿依、中山明理
 - 長木遙香、安田楓
 - 【三年】《入選》浅田蒼真、志村大樹、三角啓彰、柳原莉奈

- 《今後の主な行事予定》
- 【3月】
- 4日(月)「地域ふれあい」挨拶運動
 - ふるさと講話
 - 6日(水)★公立高校後期選抜
 - 7日(木)★公立高校後期選抜
 - 8日(金)3年生修了式
 - 9日(土)卒業証書授与式
 - 11日(月)振替休業日
 - 13日(水)★公立高校後期選抜結果発表
 - 14日(木)1、2年生標準学力テスト
 - 15日(金)1、2年生標準学力テスト
 - 25日(月)1、2年生修了式
 - 28日(木)退任式
- 【4月】
- 8日(月)始業式
 - 9日(火)入学式

将来の夢と今後の目標」
二年 野田凜華

私は将来助産師になりたいと思っています。助産師は出産にたずさわるだけでなく妊婦さんの心と身体へのケアをする仕事です。私は、出産を前にして不安な気持ちで一杯になっている妊婦さんの「心の支え」となるような助産師を目指しています。この職業に就くために二つのことを心がけて頑張りたいと思っています。

一つ目は「学に励む」ことです。私はいつも定期テストの後で、もう少しやっていたら...と後悔することがあります。この経験から、これからは後悔する前に自分のすべきことを考え、助産師になるための知識をつけていきたいです。

二つ目は「稚心を去る」ことです。私はいつも自分にはできないと思ったことをすぐに親に頼ってしまいます。例えば、朝私は親に甘えているせいで、自分で起きることができずにいます。これは将来自分が仕事を始めたとき、とても困ることです。だから今すぐにも、これなら自分にもできるかと思ったりから始め、次はいろいろな人から頼られる人になりたいです。この二つを頭に置いて、ブレずに努力を惜しまず、夢に向かって頑張っていきます。



将来の夢と今後の目標」
二年 前田虎之介

僕は将来、消防士になりたいと思っています。なぜなら、自分の父が消防士で、昔からあこがれていて、人を助ける仕事をしたいと思うからです。

そのためには、僕は今後の目標を立てて努力することが将来につながると思っています。生活面や部活動などで目標はいろいろありますが、最も目標にしているのは「社会のマナーや礼儀を身につけ、人間関係を大切にすること」です。この目標は、大人になってからも続くことで、まわりからすると当たり前のことかもしれませんが、とても大切なことだと僕は思っています。

この目標を達成するのに少しでも近づく方法は、今回の立志式で学んだことに関連すると思います。例えば「交友を択ぶ」とは、良い友を大切にすることということにつながります。しかし僕は自己中心に考えてしまう面があるのでそれを改善することを心がけて生活の中で意識していこうと思います。これからの自分の目標に向かって努力していこうと思います。



快学女子第2位

二月二十四日(日)、美里町で開催されました。先輩方に続けと、出場した選手も含め、全員が一丸となって走り、素晴らしい成績を残しました。特に女子Aチームは第2位という快挙を達成しました。レース展開は激しく、1区寺島さんが2位で持ち込んだ襷を2区以降の選手がその座を明け渡すことなくアンカー山下さんへ。3位松橋中とのデッドヒートを制し最後は胸の差で逃げ切るといふ感動の結末へ。奇しくも寺島さんが推戴式で話した、各自が1秒でもタイムを削り、「その言葉通りのレース運びが今回の快挙につながったと言えます。努力は人を裏切らない」と来年度に向け良い弾みとなる今回の新人駅伝大会となりました。

頑張れ三角中の韋駄天たち。



宇城中体連新人駅伝大会